

【教育関連】

	意見の内容	市議会の考え方
1	市内中学生の学力が低下しているのではないかな。	毎年4月に中学3年生を対象に行われる「全国学力・学習状況調査」の結果では、年々学力が低下しているということはありません。
2	教員の業務負担が多いと思うが、働き方改革は進んでいるかな。	教員以外が担う分野にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員、校務補助員等の導入や、デジタル化の導入で働き方改革は進んでいます。しかし、繁忙期には教材研究等の時間が十分に取れないなど課題もあり、さらなる改革を進めていく必要があると考えます。
3	教員の質を上げるためにどのような対策を行っているかな。	市教育委員会は教師力向上研修会を行っており、授業づくりや児童生徒に寄り添うための研修を複数回実施しています。また、学校管理職と連携を取り、必要に応じて授業参観や指導を行っています。
4	中学生の学校外での生活態度の悪さや、地域の人とのトラブルは学校が指導すべきではないかな。	" 児童生徒の学校外での言動についての監督責任は、原則として保護者であると考えます。
5	弥富中学校の通学路となっている中央幹線（鎌島地内）で、雨天時に水溜ができるので、舗装し直してほしい。	※主要幹線道路なので、予算をつけるよう要求していきます。
6	弥富中学校の通学路となっている中央幹線の歩道と車道を分ける縁石周辺に雑草が繁茂しているので、土を除去してほしいと市に要望したが予算がないということで断られた。	
7	名古屋市では、生活困窮のひとり親家庭に対して学習支援を行っているが、本市でも行っているかな。	現在は実施していませんが、今後、市教育委員会に対して制度導入について要望し取り組んでいきます。
8	教員が孤独でストレスを抱えているため、情報交換の場や相談できる場所を作してほしい。	市教育委員会では、スクールカウンセラー等の積極的な活用を促し、年次休暇の積極的な取得やメンタルチェックも勧めています。学校管理職には、校長協議会や教頭協議会等の場で、メンタルヘルスケア等の必要性・重要性を説明しています。
9	学校規模によって「教員の質」による、人事異動が行われているのではないかな。	市教育委員会にヒアリングした結果、海部地区の小中学校教職員の人事異動については、「海部地方教育事務協議会」において行われ、本市のみならず海部地区の小中学校間で異動します。地区によっては複数の学級が崩壊をして授業ができない学校や、保護者や地

		域の方の対応に多くの時間を費やさざるを得ない学校もある。人事異動をするに当たり、そのような学校にはその対応ができる教職員を充てることは十分に考えられます。従って、ご質問のような人事異動はないと考えられます。
10	能登半島地震での仮設住宅に住む高齢者への訪問、介護施設への訪問等が行われたことで、助け合いの心がはぐくまれ、いじめ予防につながっているのではないかと。震災ボランティアや、介護ボランティアなどを、授業に取り入れてほしい。	ボランティア活動に特化した授業は行っていないですが、道徳の授業や福祉実践教室で、ボランティア活動についての内容や意義などを紹介したり、その経験をお話いただく機会を取り入れています。

【小学校跡地利用関連】

	意見の内容	市議会の考え方
11	ダンス教室やパソコン教室、カルチャースクールなどに活用しては。 給食室を利用してレストラン経営を行っては。 地元野菜を利用した自然食レストランを運営しては。 子ども食堂などに利用してほしい。	本市では跡地利用を含む公共施設の再配置計画を策定しております。市議会としても、地域のニーズに応える複合施設の可能性を含め委員会で所管事務調査しています。今後も意見交換会等で市民のご意見をお聞きしながら、検討していきます。
12	大藤・栄南小学校の跡地利用はどうなるのか。アイデアは出ているのか。 給食室の利用はできないか。	栄南学区は跡地利用を考える組織委員会が立ち上がったと聞いています。学校跡地の利用については、今後、市民からのご意見をお聞きしながら、検討していきます。

【中学校跡地利用関連】

	意見の内容	市議会の考え方
13	市の主導で市民や地域の多目的利用を考えてほしい。 市民の意見をもっと聞いて進めてほしい。	「市としての案を示してほしい」との市民からの声が多くあったため、7月26日(土)に「十四山中学校跡地利活用における整備方針(案)」の市民説明会が開催されました。また、今後も継続的に市民の声をお聞きする機会を設けていく予定です。

【部活動地域展開関連】

	意見の内容	市議会の考え方
14	地域展開のための「実行委員会」を作り、地域のスポーツ協会、スポーツクラブ、スポーツ推進委員と連携して協議すべきではないか。	令和7年6月に市中学校部活動地域展開推進協議会を立ち上げ、令和9年秋を目途に休日部活動の地域展開を予定しています。協議会のメンバーはスポーツ・文化団体、保護者代表、学校関係者、NPO 法人等で検討しています。
15	学校教育課と生涯学習課の連携が取れていないのでは。	部活動地域支援コーディネーターが中心に、団体等と今後も調整、連携していきます。
16	文化協会などと一緒にできる活動はないか。	文化協会と協力できないか検討しています。

【その他】

	意見の内容	市議会の考え方
17	白鳥コミュニティセンターや総合社会教育センターのエアコン使用時の料金徴収の仕方にばらつきがあるのではないか。	コミュニティセンター条例と総合社会教育センター条例では、料金の徴収方法に違いがあるため、適切な料金体系になるよう生涯学習課に条例改正を提案しました。
18	認可地縁団体は、地方自治法で区域の相当数（個人）の者が現に構成員であることと規定している。認可の要件が個人では、新規の認可地縁団体の設立は、かなり厳しいのではないか。総会での表決権は、世帯単位で行っているのでは、認可の要件も世帯単位がよいのではないか。	地方自治法第260条の2第2項第3号に規定されているとおり、認可地縁団体の構成員は、個人としてとらえることとなっており、世帯でとらえることはできません。なお、表決権については「所属する世帯の構成員数分の1票」とする旨を規約に定めることにより、世帯単位での表決は可能となります。
19	弥富まちなか交流館（図書館棟）のリニューアル改修工事に、8億円を掛けるほどの利用者がいるのか。	令和6年度の図書館の利用者数は、107,206人、歴史民俗資料館の利用者数は、46,640人です。また、図書館棟は昭和60年に開館し、築40年が経過したため、今後も引き続き、使用するためには、市公共施設個別施設計画に則り、長寿命化改良工事を行う必要があるためです。なお、6月定例会で議決した工事請負費は7億1,940万円です。
20	市民プールを建設してほしい。	学校現場でもプールの維持管理が大きな負担となっている現状があるため、今のところ計画はありません。